北海道新幹線が開業 青函圏に新しい時代が到来

北海道・青森県トップセミナー

北海道新幹線開業により密接につながる北海道南地域と青森県との交流の拡大に向け、両地域の魅力や可能性を語り合うトップセールスセミナーが1月25日、北海道と青森県の主催により東京都内のホテルで開かれた。約400人の旅行会社や観光事業者、報道関係者らが出席。高橋北海道知事、三村青森県知事らが熱のこもったトークセッションを行い、北海道新幹線の開業と津軽海峡交流圏の形成をアピールした。

――（司会）いよいよ3月26日に北海道新幹線が開業となります。いま、一番期待していることは何でしょうか。

高橋　夢の乗り物の新幹線。北海道に初めて来るのですから、まだ乗ったことがないという道民の方が多くいると思います。まず乗ってみよう北海道新幹線、これが第1の期待です。

それから青森県とグーンと近くなる。これも期待します。新幹線で1時間ちょっと。首都圏や北関東、東北各地ともとても近くなるので、多くの人が来ることを期待しています。

昨年、北陸新幹線で金沢まで行ってきましたが、お客さまが2倍、3倍になったということでした。これは大きな期待になりますね。

三村　本州と北海道の間に津軽海峡があり、海流や風の流れが速く、生物相も異なったものになっています。

しかし、新幹線の開通でろん、ビジネスなど、さらにいろんなことができるより、見て楽しいスポーツで心理的な、このブラキスト

高橋氏

道南、青森の周遊観光を拡大
新しい「海峡の時代」をつくる

高橋　三村

いよいよ新幹線の開業となるが、北海道から鹿児島までが新幹線のレールで結ばれるということは、日本全体にとっても大きな歴史的な出来事であり、縦の交通ネットが新幹線でできることになり、素晴らしいことである。

高橋　このことにより、観光やビジネスなどいろんな分野で可能性が大きく広がることになる。首都圏の皆さんのほか、北関東、東北の皆さんに青森や北海道に大いに来てもらいたいと思っている。

北海道には、多様な観光資源がある。世界遺産に登録され10周年を迎えた知床半島、世界一の雪質を誇るパウダースノーのニセコエリア、夏になるとラベンダーの香りに満ちる富良野だとか、四季折々のいろんな観光資源を有する自然がある北海道だ。

食の分野でも安心、安全な農作物や世界一と自負している乳製品、あるいはスイーツ、さらには海の幸など魅力いっぱいの北海道だ。

青森と北海道は、古くからいろんな形で連携してきており、縄文時代から津軽海峡を小さな舟で渡って交流してきた歴史がある。それを語るのが縄文の遺跡群で、青函の遺跡群を世界文化遺産に登録をとがんばっている。

新幹線の開業に続き、縄文遺跡群が世界文化遺産になれば、さらに多くのファンを引き付け、国内外からのお客さまを迎えることができると思っている。

先ほど三村知事からハッピをいただいたが、7～9月に展開する青函DCを青森県と北海道で盛り上げ、新幹線の延伸を両地域の観光や地域づくりに役立てていきたい。

――新幹線の開業はうれしいニュースで盛り上がると思いますが、「道南いさりび鉄道」も同時に開業するのですね。

高橋　JRから経営分離をし、自治体で運営する在来線の鉄道です。沿線地域の皆さんの生活の足としての役割があるのと、もう一つ重要なのは、新幹線で道南に来られる皆さんの2次交通としての足にもなります。風光明媚な道南海岸の景色や、沿線にトラピスト修道院などいろいろな観光スポットもあるので、私たちもしっかり運営をしていきたいと思います。

車体に化粧を施した観光列車を走らせることも考えています。経営の見通しはなかなか厳しいのですが、地元の足を守り、国内外から来られるお客さまにも楽しんでもらう。そういうことで「道南いさりび鉄道」も大いに盛り上げていきたい。ぜひ、こちらにも乗ってください。

――ラムダプロジェクト。三村知事、これはどういうものですか。

三村　道南と青森に加え、岩手の北、秋田の北を結ぶとギリシャ文字のラムダという形になる。そこからラムダプロジェクトと名付けています。

これらの地域でいろいろな事業を行い、観光だけでなく、文化や経済面でも交流を広げていく。津軽海峡圏が一体となって、熱い思いを具体化していこうとするものです。

――稲葉さん、全国から来られる皆さんに北海道はこんな楽しみ方がある、というものを教えてください。

稲葉　北海道はすごく広い土地で、そこにたくさんの観光スポットがあります。行きたいところを選んでほしいと思うのですが、新幹線が来るので、まずは函館から北海道を一周回ってほしいですね。

札幌ではファイターズが試合をしています。その試合も見て、好きなところをぐるっと回ってもらえればと思います。

――川口教授、おすすめの青森の楽しみ方は何でしょうか。

川口　青森には三内丸山遺跡があります。日本文化のルーツです。星空がきれいなところで、そこで夜空を眺めながら、縄文文化の世界にひたってほしいですね。

三村　縄文文化と星空ですか、ロマンチックですね。

私たちは北東北と北海道の縄文遺産群を世界遺産にとがんばっています。

――皆さんから津軽海峡交流圏の今後の展望について、一言ずつお願いします。

高橋　いま、お話があったように、私たちは北海道と北東北の縄文文化圏を世界文化遺産に登録をとがんばっています。

先般、感動することがありました。オホーツク海沿岸の町にある黒曜石が三内丸山から出てきました。すごいなあ、どうやって運んだのかなあと。それだけ古い交流のある津軽海峡交流圏なので、これから丁寧にしっかりと交流を拡大、発展させていきたいです。

現在も青森と道南をつなぐ周遊観光を、国内だけでなく、海外からのお客さまにもお勧めしていますが、これからもしっかり取り組んでいきますので、よろしくお願いします。

稲葉　スポーツ交流も大事ですが、スポーツをやる人口が減っているので、ぜひ、スポーツ振興に力を入れていただき、北海道と青森の人たちがスポーツを通して元気になるようにしてほしいですね。いろんなスポーツがありますので、子供たちも大人もしっかりとやれるようにしてほしいと思います。

川口　新幹線は遠くにあるものとの距離を縮めてくれます。ものすごいイノベーションです。

アメリカでは大学のキャンパスを効率的に、複数の学校で共有しあっています。新幹線で1時間ぐらいで行き来ができれば、北海道と東北もそんなことができるようになると思いますす。新幹線でさまざまな効果を期待したいですね。

三村　私たちはもはや端っこではない。青森と北海道が一つになって、新しい「海峡の時代」をつくる。そんな時が来たのだと思います。

われわれは一つだ、ということで今回のセッションを締めさせていただきたい。

青森県・三村知事あいさつ

開業を迎え本当にうれしい。しっかり働くぞ、さあ稼ぐぞと、そういう強い気持ちでいっぱいだ。青森の開業後にはつらい大震災があった。それを思い出すと本当につらいものがあるが、桜満開の弘前城で手を取り合って新幹線の持つ力で東北を復興させなければと誓い合ったことを思い起こしている。

その新幹線がしょっぱい川と呼ばれていた津軽海峡、縄文の時代から小さな舟で行き来していたしょっぱい川を、今度はあっという間につなげて、私どもに大きなチャンスを与えてくれた。このチャンスを縄文以来の友である北海道の皆さんとどう活かしていくか、それが青森に課せられた課題でもある。

北海道も青森も四季の魅力、食べ物の魅力に満ちあふれた土地だ。しかし、何よりも青森も北海道の人も面白い。今日はその魅力をしっかり発信していきたいと考えている。

いま青森も函館も、新幹線という鉄の道を持つだけでなく、航空路線やフェリーも次々と就航してきている。空からも陸、海からもということでさまざまな交通体系を活用し函館としっかり連携しながら、津軽海峡交流圏の観光や経済の活性化に向けて努力しあっていきたい。

この新幹線の延伸にあたり、私は南だけでなく北を見ようや、縄文以来の本当の友達がいるじゃないか、この友達と一緒に新しい海峡時代をつくるのだと宣言させていただいた。

そのことが3月26日に実現する。何とかこれを大きな津軽海峡交流圏に広げていこう、このことによって震災復興にもつなげていきたいと考えている。

三村氏

トークセッション発言者

高橋　はるみ氏　北海道知事
三村　申吾氏　青森県知事
稲葉　篤紀氏　北海道日本ハムファイターズSCO
川口　淳一郎氏　宇宙航空研究開発機構教授

特集　北海道新幹線 3月26日開業

――温かいもてなしがあさりそうですね。稲葉さん、新幹線で行ってみたいところは。

稲葉　プロで20年間やってきましたが、青森ではまで開通した時、「はやぶさ」の名前が帰ってきました。九州の寝台列車で使われていたのが廃止になり、もう復活しないのかなと思っていたら、それが新幹線で使われることになり、本当にうれしかったです。

試合がなかったので、行ったことがありませんでした。青森にぜひ、行ってみたいですね。

一番列車に乗らせていただきましたが、その切符が新青森駅の自動改札機に回収されてしまったのが心残りです。

――川口教授、新幹線は「はやぶさ」という名前ですが、また違った思いもあるのではないでしょうか。

川口　それで今日、私様子はどうでしたか。が呼ばれたかと思います。5年前に新幹線が新青森

――乗ったときの車内

川口　時速300㌔にもなっているのに、非常に静かでした。出発の時にトラブルがありましたが、予定の時間通りに到着してすごいと思いました。こんなに速いスピードで素晴らしいなと、スピードが楽しいなと思いました。

北海道新幹線ＰＲキャラクター「どこでもユキちゃん」（右端）、λ（ラムダ）プロジェクトキャラクター「マギュロウ」（左端）と

スポーツ交流をさらに盛んに
距離を縮めるイノベーション

稲葉　川口

川口氏

稲葉氏

Hokkaido Railway Company Series H5 ※画像提供:JR北海道

北海道新幹線開業で広がる、新しい北海道旅行の楽しみ方！

松前町／松前城

オススメ！
松前・江差エリア
江差・松前周遊フリーパス
～千年北海道手形～
定期観光バスと路線バスが、3日間乗り放題となるおトクなフリーパス。ガイド付きのまち歩きなど体験メニューも充実。

本州から北海道への新たな玄関口！
北海道新幹線
新青森⇔新函館北斗間
東京・新函館北斗間は最速で4時間2分。ぐんと身近になる北海道を、より広く、深く、自在に遊び尽くしましょう！鉄道でつながる夢が、北海道の旅スタイルを変えていきます。

2016年3月26日開業！
新函館北斗　五稜郭　函館空港　江差　木古内　函館　松前　奥津軽いまべつ　新青森
北海道新幹線開業PRキャラクター どこでもユキちゃん
北海道観光PRキャラクター キュンちゃん

ふるさとのかがやきをつなげる明日へ
道南いさりび鉄道 South Hokkaido Railway
木古内⇔五稜郭間
車窓から津軽海峡が望め、日没ごろには沖合に漁火が灯ります。途中の渡島当別駅は、トラピスト修道院の玄関駅でもあり、同所の売店で販売されている濃厚なソフトクリームが人気！

北斗市／トラピスト修道院

木古内町
道の駅
「みそぎの郷きこない」
木古内駅前に2016年1月13日オープン。広域観光拠点として、特産品やグルメが充実し、観光コンシェルジュも常駐。

オススメ！

北海道／公益社団法人北海道観光振興機構　お問い合わせ　公益社団法人北海道観光振興機構 TEL.011-231-0941　北海道観光に関する情報は 北海道ぐるり旅 検索 http://www.visit-hokkaido.jp/